



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイデアインターナショナル
コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長
四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日

(氏名) 森 正人
(氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	4,340	—	117	—	48	—	16	—
26年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	5.54	5.54
26年6月期第3四半期	—	—

(注)当社は平成26年6月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成27年6月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成26年6月期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	3,040	252	7.9
26年6月期	2,446	49	2.0

(参考)自己資本 27年6月期第3四半期 239百万円 26年6月期 49百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,219	3.7	292	542.7	255	—	235	—	40.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	3,033,500 株	26年6月期	2,737,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	93,672 株	26年6月期	93,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	2,900,211 株	26年6月期3Q	1,847,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご利用ください。

平成27年7月1日に普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、当該株式分割を反映した期中平均株式数を基に1株当たり(予想)当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成27年6月期第3四半期累計期間(平成26年7月1日～平成27年3月31日)の業績は、平成26年6月期第3四半期累計連結業績に比べて、売上は4,340百万円と540百万円の増収、経常利益は48百万円と64百万円の増益、四半期純利益は16百万円と76百万円の増益と業績が大幅に改善されました。業績が改善された主な要因は高コスト体質からの脱却を目指して、平成25年10月以降、経費の見直し、業務委託の見直し、適性な人員配置などコスト削減に取り組んだ結果、前年同四半期に比べて大幅な販売管理費の削減を達成しております。また平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併し、製造機能を強化し、調達から販売まで一貫した商品供給が可能となったことも売上、利益の拡大に寄与いたしました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、中でも「ホットプレート」は当初の想定以上の売上を上げております。またトラベル商品ブランド「ミレスト」は平成26年7月にオープンした「Travel Shop Gate 成田国際空港店」を始めトラベルショップ5店舗すべて好調に推移し、売上を伸ばしております。またリレント化粧品関連販売の売上も増加したことにより、売上高は4,340百万円となりました。

利益については、前述の売上高の増加と収益改善策の一環として前期より引き続き実施しているコスト削減策の効果が寄与いたしました。粗利率の低下、円安の影響による為替差損が38百万円発生したことにより、営業利益は117百万円、経常利益は48百万円、四半期純利益は16百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り、ホットプレート等のキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」やトラベル商品ブランド「ミレスト」など自社商品ブランドが好調に推移し、またリレント化粧品関連販売の売上が加わったことで、売上高2,632百万円、営業利益は442百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、「Travel Shop Gate 成田国際空港店」等新規店舗分の売上増加により1,707百万円となりましたが、円安の影響や仕入商品の売上比率が上昇し、粗利益率が下落したことにより、営業利益は92百万円となりました。

その他においては、売上高は0百万円となりました。

円安の影響により、前期に比べて原価率が高くなり、利益に影響をきたしていますが、円安対策として、① 円安を考慮した新商品の価格設定、② 粗利率の高い商品の売上比率向上、③ 直営店舗、Eコマース売上比率の向上の施策の実施を始め、平成27年3月においては効果が現れ、粗利率の改善が図れました。

今後、トラベル商品ブランド「ミレスト」の積極的な店舗展開とオーガニック商品ブランド「テラクオーレ」のEコマース販売強化等により売上拡大を図り、また一層のコスト削減と健康コーポレーショングループとのシナジーを最大限に活用することで、V字回復を果たす所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、3,040百万円(前事業年度末は2,446百万円)となり、593百万円増加しました。

流動資産は、2,649百万円(前事業年度末は2,020百万円)となり、628百万円増加しました。これは現金及び預金の増加(149百万円)、受取手形及び売掛金(純額)の増加(136百万円)並びに商品及び製品の増加(306百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、390百万円(前事業年度末は425百万円)となり、35百万円減少しました。これは無形固定資産の増加(10百万円)があったものの、有形固定資産の減少(43百万円)及び投資その他の資産の減少(1百万円)等があったことによるものであります。

流動負債は、2,407百万円(前事業年度末は2,173百万円)となり、234百万円増加しました。これは関係会社短期借入金の返済による減少(150百万円)等があったものの、支払手形及び買掛金の増加(174百万円)、短期借入金の増加(117百万円)並びにその他の増加(88百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、380百万円(前事業年度末は223百万円)となり、156百万円増加しました。これは受入保証金の減少(8百万円)があったものの、長期借入金の増加(151百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、252百万円(前事業年度末は49百万円)となり、202百万円増加しました。これは第三者割当増資による資本剰余金の増加(161百万円)等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年9月29日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307	456
受取手形及び売掛金(純額)	424	560
商品及び製品	902	1,208
仕掛品	16	19
原材料及び貯蔵品	58	75
その他	311	328
流動資産合計	2,020	2,649
固定資産		
有形固定資産	235	192
無形固定資産	11	21
投資その他の資産	178	176
固定資産合計	425	390
資産合計	2,446	3,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	427	601
短期借入金	1,321	1,439
関係会社短期借入金	150	—
未払法人税等	—	2
引当金	20	22
その他	254	342
流動負債合計	2,173	2,407
固定負債		
長期借入金	149	300
リース債務	24	30
受入保証金	38	29
引当金	—	2
その他	11	16
固定負債合計	223	380
負債合計	2,396	2,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	111
資本剰余金	1,111	1,273
利益剰余金	△1,079	△1,063
自己株式	△82	△82
株主資本合計	49	239
新株予約権	—	12
純資産合計	49	252
負債純資産合計	2,446	3,040

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,340
売上原価	2,480
売上総利益	1,860
返品調整引当金戻入額	6
返品調整引当金繰入額	6
差引売上総利益	1,859
販売費及び一般管理費	1,741
営業利益	117
営業外収益	
その他	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	27
為替差損	38
その他	4
営業外費用合計	70
経常利益	48
特別損失	
保険解約損	12
その他	2
特別損失合計	15
税引前四半期純利益	32
法人税等合計	16
四半期純利益	16

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成26年7月31日付で、健康コーポレーション株式会社及び株式会社ジャパングヤルズSCから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、資本金が75百万円、資本準備金が75百万円増加しております。

また、平成26年10月1日付で、機動的かつ効率的な運営を推進するための資本政策に備えるための無償減資を実施いたしました。この結果、資本金が75百万円減少し、その他資本剰余金が75百万円増加しております。

さらに、平成26年12月8日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権を付与いたしました。この新株予約権の行使の結果、資本金が11百万円、資本準備金が11百万円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が111百万円、資本剰余金が1,273百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	2,632	1,707	4,340	0	—	4,340
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,632	1,707	4,340	0	—	4,340
セグメント利益	442	92	534	—	△416	117

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△416百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併したことにより事業継承した「リレント化粧品事業」は、報告セグメントの事業区分上、「住関連ライフスタイル商品製造卸売事業」に含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住関連ライフスタイル商品小売事業」セグメントにおいて、2百万円の固定資産減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

I 当社は、平成27年4月30日開催の当社取締役会において、平成27年6月29日開催の臨時株主総会にて資本金の額の減少(減資)について付議することを決議いたしました。付議事項に関しては、同株主総会で決議されることを条件に、平成27年6月30日にその効力が発生いたします。

1. 減資の目的

今回の資本金の額の減少は、当社の機動的かつ効率的な運営を推進するための資本政策に備えるものであります。

2. 減資の要領

(1) 減少すべき資本金の額

資本金の額111百万円のうち、61百万円を減少させ、50百万円といたします。

(2) 減資の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額61百万円的全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 減資の日程

(1) 取締役会決議日	平成27年4月30日
(2) 株主総会基準日公告日	平成27年5月1日
(3) 株主総会基準日	平成27年5月15日
(4) 債権者異議申述最終期日	平成27年6月15日(予定)
(5) 臨時株主総会決議日	平成27年6月29日(予定)
(6) 減資の効力発生日	平成27年6月30日(予定)

II 当社は、平成27年5月12日開催の当社取締役会において、株式分割による新株式の発行を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施することで当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的といたします。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成27年6月30日(火)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数(平成27年5月12日現在の発行済株式総数にて試算)

株式分割前の発行済株式総数	3,033,500株
今回の分割により増加する株式数	3,033,500株
株式分割後の発行済株式総数	6,067,000株
株式分割後の発行可能株式総数	17,984,000株

(注) 上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により発行済株式総数が増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

基準日公告日 平成27年6月16日(火)

基準日 平成27年6月30日(火)

効力発生日 平成27年7月1日(水)

3. 1株当たり情報に及ぼす影響額

当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり四半期純利益	2円77銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	2円77銭